

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市人口ビジョン（改定原案）および第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。寄せられたご意見等を踏まえ原案を修正し、別紙のとおり最終案とします。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市人口ビジョン（改訂原案） 第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）		
募 集 期 間	令和元年12月2日（月）～ 令和2年1月6日（月）		
意見の件数 （意見提出者数）	10件（ 3人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	1件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	今後の参考とするもの	6件
	その他	意見として伺ったもの	2件
意見の受け取り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		3人

【意見等の内容】

No.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
1	<p>【人口ビジョン】</p> <p>将来展望で示す10年後の出生率1.70は無理だと思う。現実的な数値に基づく計画にすべき。ある程度の人口減に基づき、生産年齢人口がどれだけ必要で、何に特化した産業を創るか、交流人口や関係人口の増加によって仕事をどれだけ増やせるかが大切だと思う。</p>	1件	<p>【その他】</p> <p>帯広市の子育て世帯における理想の子ども数は一貫して2人を超えており、市民の希望を叶え、長期的に人口を維持するための出生率2.07に到達するため、できるだけ早く出生率を改善する必要があります。一方で、出生率が伸び悩んでいる実態を踏まえ、従来の想定を下方修正し、2030年に出生率1.70と設定しました。その実現は容易ではありませんが、ご指摘のように中長期的な人口減少を念頭に置きつつ、次期総合戦略に掲げた様々な取り組みを通し、人口動態の改善と活力ある地域づくりにつなげていく考えです。</p>

No.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
2	<p>【人口ビジョン】 人口ビジョンで示す「結婚する気持ちになるような状況」が整えば本当に結婚したくなるか。多様な結婚観や人生観が容認される一方、何がベストかを選択できず、葛藤を抱える人が多い中で、さらに踏み込んで、どのように生きたいのかという、自らの人生を決断する力が強く求められているのではないか。</p>	1件	<p>【参考】 結婚の判断には、「結婚する気持ちになるような状況」のグラフで示した意識や経済・社会環境をはじめ、様々な要素が影響していると考えています。「自らの人生を決断する力」についても重要性が指摘されつつあり、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>【人口ビジョン】 管内の既婚者から配偶者との出会いについて聴取したところ、以前からの友人であったケースや、友人・知人から紹介されたケースが大多数で、地元コミュニティが出会いの場として重要な機能を果たしていた。また、結婚相談所や婚活パーティーを利用した出会いについては、特に未婚30代女性から前向きな意見が多かった。</p>	1件	<p>【参考】 出会いにおける身近な人間関係の重要性はご指摘の通りと考えており、国の出生動向基本調査でも、夫婦が知り合ったきっかけとして、「友人・兄弟姉妹を通じて」「職場や仕事で」の合計が約6割となっています。また、帯広市としても、婚活事業への前向きな受け止めが広がっていると認識しており、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>【人口ビジョン】 婚活事業で着実に成果を挙げている団体を見ると、成功のカギは以下の3つである。 1) 長期にわたる一貫性のある支援を行っていること 2) 結婚相手の紹介のほか、親身なアドバイスや見守り等の支援を行っていること 3) 人生の先輩や頼れる兄・姉のような存在として、支援者が相談者と「ナナメの関係」を築いていること</p>	1件	<p>【参考】 結婚相談事業を行う民間の事業所等がある中で、帯広市が直接的に婚活支援に取り組む範囲は限られますが、きめ細かな支援や人間関係の重要性についてはご指摘のとおりであり、ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>【総合戦略】 農業という強い基幹産業がありながら、原料を基にした食関連製造事業が不足している。付加価値の高い物を製造する場所が少なすぎる。小回りのきく製造業について、数値目標に入れるべき。</p>	1件	<p>【既記載】 十勝・帯広には、農業を核に多様な産業が集積している一方、域内加工が限られ、食料品製造業の付加価値額が全国と比べ低いという課題があります。次期総合戦略では、ご意見の趣旨と同様の考え方に立ち、重要業績評価指標として「食料品製造業の従業員一人あたり製造品出荷額」を掲げ、農業・食関連産業の振興に取り組むこととしています。</p>

No.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
6	<p>【総合戦略】 十勝・帯広の強みである「食」を生かしたまちづくりが必要。観光業が多職種産業になっているように、食と健康、食とスポーツ、食とリハビリなど、横断的な取り組みを考えてみてはどうか。</p>	1件	<p>【修正】 十勝・帯広で進めている「フードバレーとかち」の取り組みは、「食」を中心に、産業振興や環境・エネルギー、福祉、教育などの幅広い分野を結びつけ、地域の活性化につなげるもので、次期総合戦略においても、バイオマス利活用や食育、体験・滞在型観光、健康増進に係る普及啓発などを予定しています。このため、ご意見の趣旨とは軌を一にしていると考えますが、「食」を様々な分野と関連づけ、横断的に取り組んでいく趣旨を明確化するため、以下のとおり修正します。</p> <p>(4) 安全安心でいきいきと暮らせるまちをつくる</p> <p>① 支え合いの地域づくり ア) 高齢者・障害者の生活支援 (旧) 誰もが…(中略)…医療・福祉人材の確保、<u>生涯にわたる健康増進に取り組むほか、障害や障害者に対する理解促進や相談対応等</u>に取り組みます。 (新) 誰もが…(中略)…医療・福祉人材の確保、<u>障害や障害のある人に関する理解促進・相談対応等</u>に取り組むほか、<u>地域の「食」などを活かしながら、生涯にわたる健康増進</u>に取り組めます。</p>
7	<p>【総合戦略】移住支援 十勝は日高山脈により台風や低気圧が遮られることで、自然災害が少なく、冬期には晴天が続き除雪等の頻度も少ない地形となっている。気象変動による災害多発に不安を持つ本州地域からの転入が見込めるため、「台風等の自然災害が少なく、冬期は晴天が続き降雪が少ないことのアピール」を取り組み内容に加えてはどうか。</p>	1件	<p>【参考】 これまで、年間降雪量の少なさや「十勝晴れ」などの気候面の特長のほか、豊かな自然など地域が持つ魅力を移住情報として発信してきています。今後とも、住みやすく快適な生活環境をアピールしていく考えです。</p>
8	<p>【総合戦略】移住支援 格安の住居や市所有の遊休地を斡旋し、移住しやすい環境を整えることが重要。取り組み内容として、「移住住宅及び土地の斡旋」を加えてはどうか。</p>	1件	<p>【その他】 帯広市では、都市と自然が調和した良好な環境の中で、不動産事業者などにより、大都市圏と比べ低廉な住宅や土地が供給されており、移住相談などを通じ、こうした情報提供を行っています。ご提案の内容については、ご意見として伺うこととします。</p>
9	<p>【総合戦略】 結婚、出産、子育ての環境を整えても、教育環境が充実していなければ、一生住む場所にはなり得ない。国私立の小中学校がなく、高等教育機関も少ない中で、どんな教育環境を整えるかは重要な課題。ハード（教育機関）をどんなソフトで補うかが大切だと思ふ。</p>	1件	<p>【参考】 居住地の選択において、教育面の影響は大きく、次期総合戦略でも、ふるさと教育の推進や教育環境の充実、高等教育機関等と連携した人材育成などの取り組みのほか、関連する重要業績評価指標を掲げています。今後も、多くの方々に帯広で子どもを育てたいと感じていただけるよう、豊かな自然、特色ある産業や歴史・文化、学校・家庭・地域の密接なつながりなど、大都市圏とは異なる強みを活かし、教育の充実に取り組んでまいります。</p>

No.	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
10	<p>【総合戦略】 安全安心で生き生きと暮らせるまちにするには、病気にならない、させない環境づくりが必要。健康的な高齢者を増やす方策を考えるべき。健康や予防の切り口がまちづくりに不足している。</p>	1件	<p>【参考】 安全安心なまちづくりにおける「健康」の重要性を踏まえ、次期総合戦略では、「高齢者・障害者の生活支援」において、介護予防や健康増進の取り組みを掲げています。これらを通じ、誰もが生涯にわたり健やかに暮らせるまちづくりを進める考えです。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり